

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	適切であるため、引き続き適正利用人数を厳守し、安全性の確保をしていく。
	2	職員の配置数は適切である	子どもの状況、様子によって加配し、安全に運動出来るよう人員を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	児童が見通しを持てるよう、1日の予定を掲示している。また、見やすさを考えるとともに視覚による刺激を配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	コロナウイルス感染に関わらず、環境全体の消毒、掃除、換気はその都度行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	毎日、始業時と終業時にミーティングを行い、情報の共有をしている。それ以外で、情報共有ノートを設置し、伝えるべきことをその都度記入し、その都度全員チェックするようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	毎年の評価の実施は勿論、日頃から保護者とのコミュニケーションを大事にし、ご意見やご意向を聞き取るようにしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2019年度から毎年公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	各自持ち寄りで定期的に学びあいを行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。</li> <li>・定期的に情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。</li> </ul>
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	定期的に支援計画ミーティングを行い、スタッフ同士の情報交換、意識の共有を行い、話し合いながら支援内容を検討している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画立案後は各自目を通し、具体的な支援目標を把握するようにしている。</li> <li>・今後は一言情報（毎日の登室の状況、支援の内容等）を日々確認し、支援の内容を更新していく。</li> </ul>
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	スタッフ同士でその都度意見を出し合い共有しながらプログラムの内容を工夫している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	毎回クールごとのスタッフを変えたり、いろいろな運動を組み合わせたりして、子どもの状況や様子によってプログラムを適宜取り入れるようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	保護者との面談やフィードバック等で直近の様子を聞き取り、取り込みながら作成している。

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	始業前のミーティングで支援内容・役割分担を確認し、共有している。共有したことは記録に残し、振り返りができるようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	就業時にミーティングを行い、その日のうちにスタッフ間で確認・共有をするようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）に記入し、次回の支援につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	契約後、6か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児発管と現場指導員で参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	学校との連携（ケース会議等）も定期的に行ったり、要望があったらすぐに対応するようにしている。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後必要に応じて検討していきたい。

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	ご依頼があれば、今後対応していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	適宜、連携を行っており、助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	特に検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	現在特にしていないため、情報を収集して今後必要に応じ検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、希望に応じ学校や家庭での様子を伺いながら支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	ペアレントトレーニングは職員の間で行われている。日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスをを行っている。また、面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児発管が支援計画を作成・説明を行い同意を得ている。

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	指導員や児発管が悩みを話せるように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングを行い回答するように心がけている。また、電話で経過を伺うなどして相談に応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	現在、父母の会や保護者会は行っていないが、ご要望が多くなってきた場合は検討も考慮していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善するようにしている。</li> <li>・専用お問い合わせ窓口の設置（個人別ライン）にて個別に対応している。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行していないが、連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。また、LINE@で連絡体制を整備している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料等は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していきたい。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	耳の聞こえにくい方への伝え方は、指導員が手話研修を受け、他の職員に伝達している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類は閲覧出来るようにし、職員間で周知しているが、保護者への周知はまだできていないため、今後、お手紙等で周知していきたい。

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回、地震や火事を想定して実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談時のフェイスシートと面談時に確認している。変更があった場合は随時情報提供していただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては聴取しているが、食事提供は行っていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度ビデオを確認しながら、スタッフ間で振り返りをし、共有することで今後の対応策を話し合っている。振り返りを行ってから記録を作成し、ファイリングをしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者兼児発官が半年に一回内部研修を行っている。</li> <li>・入職時の研修、入職以降も店舗で必ず行っている。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	事業所内ではやむを得ず拘束に至る場面が無いが組織的に決定しており、契約時には事前説明している。

## 保護者等からの児童発達支援におけるアンケート集計結果(公表)

事業所名 TAKUMI川崎教室

2022年度期

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ D: わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	0		
な支援の	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	1		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	0		

## 保護者等からの児童発達支援におけるアンケート集計結果(公表)

事業所名 TAKUMI川崎教室

2022年度期

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ D: わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	2	本人は保育所にも通っているので十分と思います。	ありがとうございます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4	0	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	0	2		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	2	1	コロナ等もあり難しいと思います。	ありがとうございます。引き続き感染症には留意したうえでの支援を行っていきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	1		
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0			

## 保護者等からの児童発達支援におけるアンケート集計結果(公表)

事業所名 TAKUMI川崎教室

2022年度期

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ D: わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	1	2		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	0	0	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	0		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0	非常に楽しみにしており生活の一部になっています。	そう言っただき感謝しております。これからも気を引き締め安全に楽しく子どもたちが運動出来るよう努めてまいります。ありがとうございます。
	23	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで子どもが多い時は、サーキットを2つに分けて、運動量が確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	子どもの状況、様子によって加配し、安全に運動出来るように常に配慮している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、入口は段差が無いように、トイレには手摺等を取り付け、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	毎日、始業時と終業時にミーティングを行い、情報の共有をしている。それ以外で、情報共有ノートを設置し、伝えるべきことをその都度記入し、その都度全員チェックするようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年の評価の実施は勿論、日頃から保護者とのコミュニケーションを大事にし、ご意見やご意向を聞き取るようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	各自持ち寄りで定期的に学びあいを行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。

## 事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。</li> <li>・定期的に情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。</li> </ul>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	スタッフ同士でその都度意見を出し合い共有しながらプログラムの内容を工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎回クールごとのスタッフを変えたり、いろんな運動を組み合わせたりして、子どもの状況や様子によってプログラムを適宜取り入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、休日は定休日であり、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容で実施している。長期休暇にはイベントを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者との面談やフィードバック等で直近の様子を聞き取り、取り込みながら作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	始業前のミーティングで支援内容・役割分担を確認し、共有している。共有したことは記録に残し、振り返りができるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	就業時にミーティングを行い、その日のうちにスタッフ間で確認・共有をするようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙(子どもの一言情報)にも記入し、検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	契約後、6か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。

## 事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	総則確認
関係機 関や保 護者 との 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもに精通した最もふさわしい者が参 画しているか	児発管と現場指導員で参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に 行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っ ていない。その代わりに、保護者から間接的に学校情報をもら うことがある。最近では施設見学や面談を行い、その結果を 鑑み、今後の必要性を検討していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子ど もの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケ アの必要なお子様を通所していないが、今後受けれる場合 は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と 相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課 後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相 互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討 していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか	過去に放課後等デイサービスを卒業した児童はいないが、資 料を提供できる体制は整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている か	近隣で公開しているセミナーなどに参加しており、その中で 適宜連携をし、助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施して いない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないた め、今後必要性を検討していく。
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加してい るか	各自治体の方針によって参加の有無が異なっているが、あれ ば参加したい。	

## 事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、希望に応じ学校や家庭での様子を伺いながら支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは職員の間で行われている。日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスを行っている。また、面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在、父母の会や保護者会は行っていないが、ご要望が多くなってきた場合は検討も考慮していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、今年度中に、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口を設置することを検討していく予定。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行していないが、連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。また、LINE@で連絡体制を整備している。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料等は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していきたい。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	耳の聞こえにくい方への伝え方は、透明のマスクの使用や手話を使って意思疎通が図れるように工夫している。

## 事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2022年度期

事業所名 TAKUMI 川崎教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類は閲覧出来るようにし、職員間で周知しているが、保護者への周知はまだできていないため、今後、お手紙等で周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回、地震や火事を想定して実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者兼児発官が半年に一回内部研修を行っている。</li> <li>・入職時の研修、入職以降も店舗で必ず行っている。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内ではやむを得ず拘束に至る場面が無いが組織的に決定しており、契約時には事前説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては聴取しているが、食事提供は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度ビデオを確認しながら、スタッフ間で振り返りをし、共有することで今後の対応策を話し合っている。振り返りを行ってから記録を作成し、ファイリングをしている。

## 保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果(公表)

事業所名 TAKUMI川崎教室

2022年度期

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ

		チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	もう少し広い方がいいと思うが場所がない。	環境設定を工夫し、少しでも今ある活動スペースで楽しんでいってもらえるように努めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	0		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	11	2	0	困ることを事前に聞いてから支援計画を作ってくれている。	ありがとうございます。少しでも親御様のニーズに合った支援計画を作成できるように今後も面談を大事に行っていきたいと思えます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	13	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	7		
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	2	0	毎回具体的にどういった目的を持って運動しているか説明してほしい。	少しでも運動の様子が保護者様に伝わりますように日々振り返りを行っていきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	3	0		

## 保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果(公表)

事業所名 TAKUMI川崎教室

2022年度期

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ

		チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	8		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	3	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎えに行っていないので先生と話す機会が少ないがlineで相談などすればすぐに答えてくれる。</li> <li>・LINE等で細かく連絡が来るのがいいと思う。</li> </ul>	ありがとうございます。今後も意思疎通、迅速な情報伝達が出来るように努めてまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	7	3	月一でいいからホームページを使った活動報告がほしい。	ご意見ありがとうございます。今後の検討課題にさせていただきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	11	2	0		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動をしに行くことや、職員の先生方に会って話したりすることを楽しいと感じている。</li> <li>・日によってまちまち。</li> </ul>	

## 保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果(公表)

事業所名 TAKUMI川崎教室

2022年度期

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ

		チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の活動内容は半年に一度の支援計画の相談時にしか見ることが出来ないため、もう少し見る機会を増やして頂くか、以前のように動画を撮って見せていただきたいです。</li> <li>・とても満足している。TAKUMIさんの支援のおかげで本人の自己肯定感や気分転換又ストレス発散、自分をサポートしてくれる味方のような存在が多くいることを感じられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。今後の検討課題にさせていただきます。</li> <li>・ありがとうございます。引き続き支援の場所としてご愛顧いただけたらと思います。</li> </ul>

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。